



平成 31 年 2 月 8 日

各 位

会社名 アキレス株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊藤 守
(コード番号 5142 東証第一部)
問合せ先 執行役員経理本部長兼経理部長 河野 和晃
(TEL 03- 5338- 8238)

特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 31 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間（平成 30 年 10 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日）において、下記のとおり特別損失（減損損失）を計上いたしましたので、お知らせいたします。あわせて、平成 30 年 11 月 7 日に公表いたしました平成 31 年 3 月期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

当社は、平成 31 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間において、収益性の低下がみられた固定資産（シューズ事業）について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、減損損失 1,214 百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 連結業績予想数値の修正

平成 31 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	88,000	2,200	2,600	1,800	106.74
今回修正予想（B）	86,000	1,200	1,800	200	12.09
増減額（B－A）	△2,000	△1,000	△800	△1,600	
増減率（％）	△2.3	△45.5	△30.8	△88.9	
（ご参考）前期実績 （平成 30 年 3 月期）	87,910	2,343	2,769	2,284	132.40

3. 業績予想の修正理由

売上高は、プラスチック事業、産業資材事業は概ね当初の計画通りに進捗しておりますが、シューズ事業においては計画を下回る見通しとなり、全体では前回予想値を下回る見込みであります。

利益面では、減収の影響に加え、原材料価格や物流費上昇の影響、北米子会社においても原材料価格の上昇により業績悪化が予想されること、および、上記 1. で記載のとおり、固定資産の減損損失を特別損失に計上することから、営業利益、経常利益、親会社株式に帰属する当期純利益が前回予想額を下回る見込みであります。

（注）上記の業績予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上